

森林官からののおたより

伊豆森林管理署 東伊豆森林事務所

森林官 木 俣 かおり

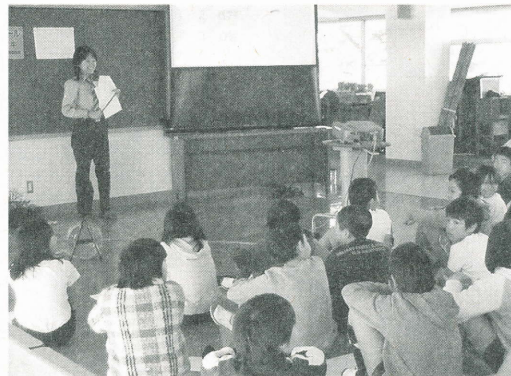
【東伊豆の山は魅力的】

地図を片手に、細い山道を必死になつて運転し始めるようになってから1年が経ちました。歩道や歩道でない所を歩き回ったり、ヒノキをかじるのが大好きなシカと知恵比べを続ける日々ですが、行くたびに違う表情を見せる山々の景色に見とれ、自然と笑みがこぼれるようにもなりました。

東伊豆森林事務所は静岡県東部の東伊豆町にあり、伊豆半島の中央にそびえる天城山地にある国有林（東南部約1,500ha）を管理しています。管内には森の巨人たち百選に



緑に囲まれた仕事場は最高



森林教室
(東伊豆町の森林率はいくつかな?)

選ばれた樹齢1,000年以上といわれる「シラヌタの大杉」や、モリアオガエルの生息地として有名な「シラヌタの池」があります。

また、天城連山の万二郎岳（1,309m）や万三郎岳（1,406m）の稜線から標高1,000mに達するまではブナやヒメシヤラなどの美しい広葉樹で占められているため、モリアオガエルが水面にかかった樹木の枝に泡状の卵を産卵する頃（例年5月下旬～6月上旬）には山は新緑に萌えており、スギ・ヒノキの濃緑とのコントラストが来訪者の心を和

ませています。

【出前森林教室に挑戦】

下刈作業の監督、鹿柵の点検・修理など、赴任当初はやること全てが初めてで戸惑いましたが、周りの方々の支えもあって日々の生活にも慣れてきた昨年の秋頃、むくむくと「このままの生活を続けて異動になったとき、私は満足だろうか？」という思いが頭をもたげてきました。

もともと森林教室に興味を持っていたのですが、地元からの要望は特に無く、自分から動かなければ何も出来ずに終わってしまう状況でした。

そこでまず署に相談したところ、「積極的に頑張つて！」と背中を押してもらい、続いて近隣事務所の基幹作業職員に相談すると、知り合いの先生を紹介してもらえ、さらに先生に「五年生の社会科で、わたしたちの生活と森林」を学習する時に、こんなことをさせてもらいたい」と資料を用いて説明したところ、とんとん拍子で教室授業を行うことになりました。

わかりやすく、楽しみながらきちんと学べる教材を目指し、パワーポイント、スギ・ヒノキやチェーンソーの

実物及び実験道具を、署や近隣事務所の協力を受けて準備しました。

1月と2月に1校ずつ開催しましたが、子どもたちは画面に映し出される森林クイズに元氣よく手を挙げ、土と水を使った実験にも目を輝かせて参加してくれました。

【今後の抱負】

森林教室にせよ、森林の整備にせよ、自分が「やりたい」と願うことを実現しやすい環境にあることが、森林官の魅力だと思います。

まだまだ業務において不安な点は多々ありますが、管内の魅力を通り味わった後のこの先の1年は、森林教室の継続・改善など今の自分に出来ることを一つずつこなしながら、魅力的な森林の育成・地域への貢献のため自分に出来ることは何かを考えながら、それを形にしていければと思っています。



「森の巨人たち百選」に選ばれた『シラヌタの大杉』